

みさと 市議会だより



No. 181

2020年5月15日号

年4回発行

発行 埼玉県三郷市議会

議会は市の
意思決定
の
中心

主な内容

令和2年3月定例会

- ・新型コロナウイルス対策のため
会期を7日間短縮しました・・・ 2
- ・令和2年度施政方針・主な事業・・・ 3
- ・令和2年度一般会計予算などの審査概要・・・ 4
- ・論点「放課後児童支援員の資格要件を拡充」・・・ 6
- ・市政に対する一般質問・・・ 7
- ・3月定例会提出議案とその結果・・・ 11
- ・読者の声・・・ 12

さくら公園(三郷三丁目)

新型コロナウイルス対策のため会期を7日間短縮しました

市議会では、新型コロナウイルス感染症の拡大防止が最優先事項であることから、日々情勢が変化する中、執行部が市民対応に専念できる環境を整えることを目的として、議会運営委員会を中心に議論を重ねました。以下、経過についてご紹介します。

2月25日

定例会等における感染症の拡大防止対応について協議

- 議場への入場者のマスク着用の推奨。傍聴者には、マスクの着用と手指の消毒の励行により、入場自粛は求めないこととした。
- 毎年5月に予定されている常任委員会の行政視察を延期した。



3月3日

執行部が対策に専念できるよう市議会としてどのような協力ができるか協議

- 市民生活に係わる条例や予算等の市長提出議案の「採決」を最優先事項とし、委員会報告書作成にかかる日数を短縮し、議案の採決日を繰り上げた。 ※1

一般質問の実施について協議

- 一般質問を全取下げ、会期を短縮することについても意見が交わされた。
- 現在、市内において感染者がいないことと、一般質問は議員に託された議会活動のひとつでもあることから、実施すべきか否か見解が分かれた。
- 一般質問の割り振り人数を見直し、日程を短縮し、現時点では実施することとした。また、今後の情勢を注視しつつ、その都度判断していくこととした。 ※2

コロナ対策における市の動き

- 2月21日**
- 三郷市新型コロナウイルス対策本部を設置
 - 感染予防・蔓延防止の徹底
 - 市主催のイベント等の中止(4月末まで)が決定

- 2月28日**
- 国からの学校の休校要請を受け、市内小中学校の休校の実施
 - 老人福祉センター、児童館等及び総合体育館・勤労者体育館(トレーニングルームのみ)において休館の実施

- 3月13日**
- 近隣自治体での感染者の発生に伴い、三郷市におけるさらなる感染拡大防止策の実施(卒業・卒園式の中止、市内公共施設(屋内のみ)を閉鎖)

3月6日

執行部が国・県の政策等を受け、対応に追われる状況となったことへの協力として、一部の議員及び会派から、一般質問と意見書の取り下げがあり、日程がさらに1日短縮され17日に閉会することとした。

3月13日

近隣市でも感染者がでたことから、不測の事態に備えて今後の議会運営について確認した。今後の市内の状況によっては一般質問を中止し、議会をその時点で閉会することとした。 ※2

【当初の日程】

月日	曜日	説明
3/2	月	市長の施政方針表明、議案の上程・説明
中略		
3/11	水	常任委員会
3/12	木	(委員長報告書作成)
3/13	金	(委員長報告書作成)
3/16	月	(委員長報告書作成)
3/17	火	議案の討論・採決
3/18	水	一般質問
3/19	木	
3/23	月	
3/24	火	

ここまでは従来どおり実施

※1 議案の採決日を4日前倒し

※2 一般質問の日数を2日短縮

【変更後の日程】

月日	曜日	説明
3/2	月	市長の施政方針表明、議案の上程・説明
中略		
3/11	水	常任委員会
3/12	木	(委員長報告書作成)
3/13	金	議案の討論・採決
3/16	月	一般質問
3/17	火	

令和2年度 施政方針

5つの輪で進めるふるさと三郷
みんながほほえむまちづくり

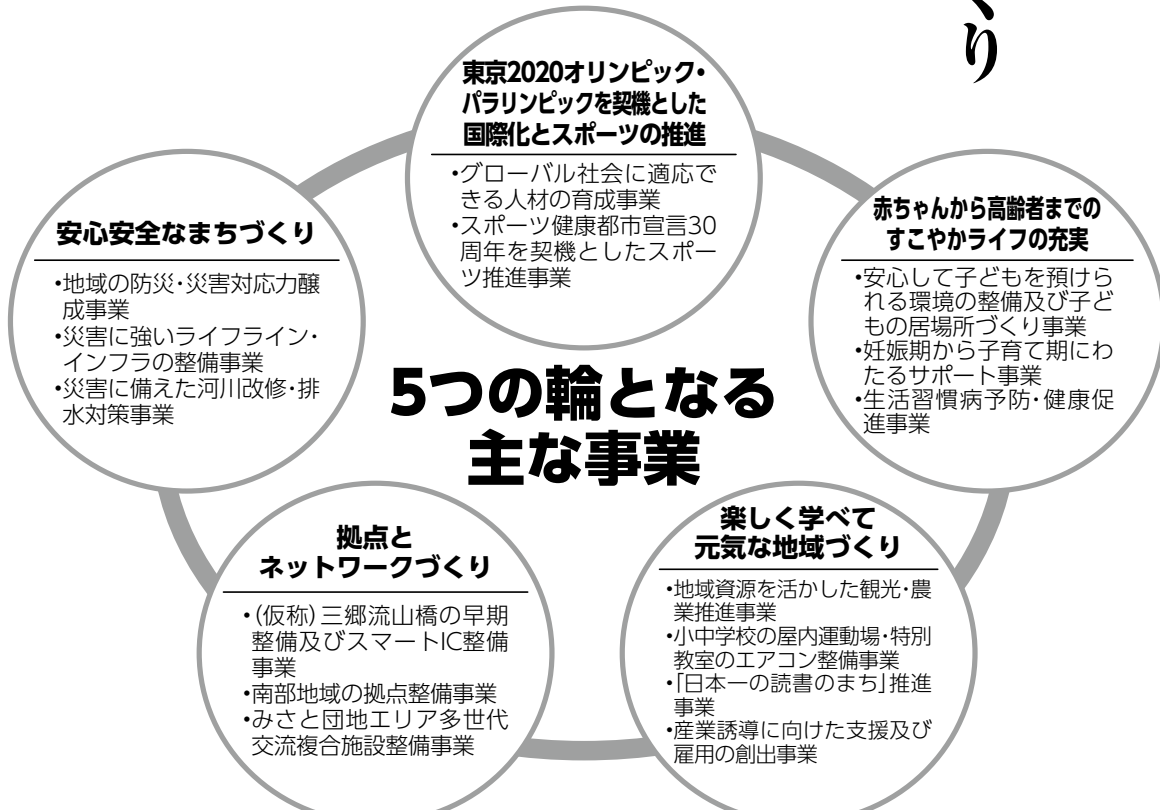


木津雅晟 市長

令和2年度につきましては、一丸となって、更なる地域活性化、魅力向上、そして、子どもたちが未来に向けて大きな夢を抱き取り組みとして、「5つの輪で進めるふるさと三郷 みんながほほえむまちづくり」を掲げ推進してまいります。

5つの輪として「安心安全なまちづくり」、「東京2020オリンピック・パラリンピックを契機とした国際化とスポーツの推進」、「赤ちゃんから高齢者までのすこやかライフの充実」、「拠点とネットワークづくり」、「楽しく学べて元気な地域づくり」を最重要・重点施策事業として位置づけ、各施策を着実に実施してまいります。

今後におきましても、常にスピード感を持ち、市民感覚と経営感覚を大切にしながら、令和2年度が計画の終期となります「第4次三郷市総合計画」の総仕上げを行うとともに、「ふるさと三郷 みんながほほえむまちづくり」を進めてまいります。
※3月定例会初日に市長から施政方針の表明がありました。



5つの輪となる
主な事業

安心安全なまちづくり

- ・地域の防災・災害対応力醸成事業
- ・災害に強いライフライン・インフラの整備事業
- ・災害に備えた河川改修・排水対策事業

東京2020オリンピック・パラリンピックを契機とした国際化とスポーツの推進

- ・グローバル社会に適應できる人材の育成事業
- ・スポーツ健康都市宣言30周年を契機としたスポーツ推進事業

赤ちゃんから高齢者までのすこやかライフの充実

- ・安心して子どもを預けられる環境の整備及び子どもの居場所づくり事業
- ・妊娠期から子育て期にわたるサポート事業
- ・生活習慣病予防・健康促進事業

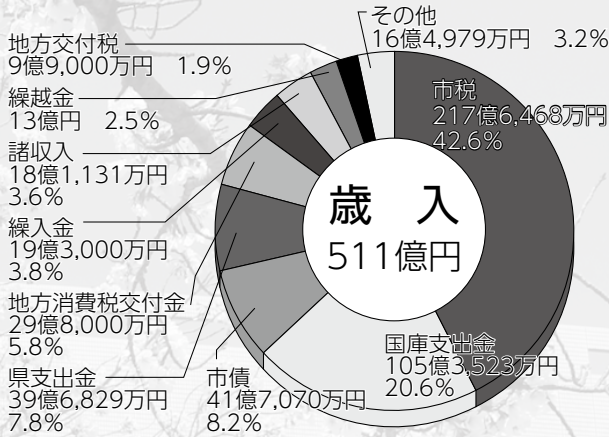
楽しく学べて元気な地域づくり

- ・地域資源を活かした観光・農業推進事業
- ・小中学校の屋内運動場・特別教室のエアコン整備事業
- ・「日本一の読書のまち」推進事業
- ・産業誘導に向けた支援及び雇用の創出事業

拠点とネットワークづくり

- ・(仮称)三郷流山橋の早期整備及びスマートIC整備事業
- ・南部地域の拠点整備事業
- ・みさと団地エリア多世代交流複合施設整備事業

令和2年度 一般会計予算



歳入区分	説明
市	税金 市民税、固定資産税など
国庫支出	金 特定の事業に対して国から交付
市	債 市が長期にわたって借りるお金
県支出	金 特定の事業に対して県から交付
地方消費税	交付金 県の地方消費税収入の中から交付
諸	収入 学校給食納付金、雑入など
繰	入金 基金からの繰り入れ
繰	越金 前年度一般会計からの繰り越し
地方	交付税 財政状況に応じて国から交付
そ	の他 分担金及び負担金、使用料及び手数料など

3月定例会では、令和2年度の三郷市のまちづくりの基本となる予算を審議し、可決しました。

一般会計予算は、前年度に比べ11億円(2.2%)の増額となる511億円で、予算規模として過去最高となり、13年連続で前年度予算を上回るものとなりました。

議案を詳しく審査するために開かれた、各常任委員会(総務・市民福祉・文教経済・建設水道)での、令和2年度予算に関する質疑・討論の要旨をお知らせします。

RP・AIを活用した 業務改革を推進

《総務常任委員会》

業務改革推進事業は、RP A(ソフトウェア型)のロボットによる業務プロセス自動化)やAI(人工知能)を活用し業務改善を図るものである。令和2年度は全庁的に業務の洗い出しを行い、5年間をかけ業務改革計画を推進していく。

庁舎管理事業では、1階から3階までの庁舎内部の壁などを補強する耐震工事を行う。日常業務に支障のないよう工事を進めていく。

地方創生推進事業(都市型ヘルスツーリズム推進)は、健康と運動、健康と食事、健康と癒しなど、健康都市ブランドのイメージアップを研究するプロジェクトである。一般社団法人三郷市観光協会との連携も考えていきたいとのことでした。

そのほかホストタウン推進事業、消火栓等施設整備事業などについて審議しました。



ヘルスツーリズムの候補地
(江戸川緊急船着場)

子育てのための 施設充実を

《市民福祉常任委員会》

保育所等整備推進事業では、小規模保育事業施設の新設に対し補助金を交付する。定員数として小規模保育事業19人以下の施設3施設を想定しており、合計57人の利用定員増を見込んでいる。また、他の施設で弾力的運用により計60人前後の利用定員増になると考えている。

子どもの学習支援事業について、今年度は3会場それぞれ定員15名のところ、北部で11名、南部で5名、中央で7名の合計23名の中学生・高

校生が通っている。今後は、小学校高学年も対象にできないか他市の例も参考にしながら検討を始めた。

すこやかみさと地域推進事業では、「すこやかみさと(健康増進・食育推進計画)」は平成29年度から令和5年度までの7年計画であり、その中間が令和2年度にあたる。市民と共に様々な事業を展開している。今までの事業をどのように評価するかアンケートをとり、今後の事業につなげていくとのことでした。

そのほか宿泊型産後ケア事業、障害福祉サービス給付事業、三郷中央におどりプラザ運営事業などについて審議しました。



市内保育所

令和2年度

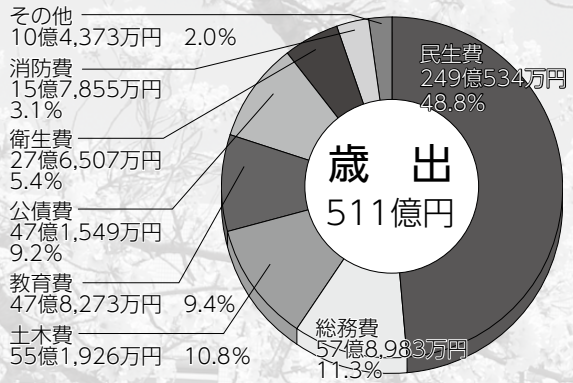
特別会計予算

5つの特別会計予算は、各常任委員会で審査し、本会議において可決しました。

【特別会計別予算一覧表】

区分別		予算額
国民健康保険		140億7,972万円
介護保険		98億1,000万円
後期高齢者医療		16億2,068万円
上水道事業	収入	31億4,354万円
	支出	37億2,369万円
公共下水道事業	収入	52億8,320万円
	支出	64億4,709万円

※上下水道事業は収益的収支と資本的収支の合計額です。



歳出区分	説明
民生費	子ども、高齢者、障がい者などの福祉事業費など
総務費	防災や防犯、マイナンバーカード交付、市税の課税徴収など
土木費	道路や河川、公園整備など
教育費	学校教育費、「日本一の読書のまち」推進事業など
公債費	市債の返済金
衛生費	ゴミの収集や予防接種など
消防費	消火・救急活動などに使うお金
その他	議会費、商工費、農林水産業費など



総合防災訓練

等により災害時の備えについて普及啓発・策定支援を行う。

安心安全なまちづくり 地域防災計画を改訂

《文教経済常任委員会》

地域防災計画改訂事業では、防災関係法令や関係指針等の改正内容を反映するとともに、国、県等が公表する最新の上位計画や被害想定等との整合を図り、最新の防災知見を踏まえ、実効性の高い地域防災計画の改訂を行う。

「日本一の読書のまち」推進事業については、三郷市全体を大きな図書館と捉え、ラッピングカーで市内を回り日本一の読書のまちをPRしながら各所に本を届けられる仕組みを考えているとのことでした。

討論として、「昨年からの給食費の値上げが実施され、子育て世帯の家計を圧迫し、多子世帯ほど負担は重くなる。学校給食費の無償化や負担軽減について実施すべきであり反対」などがありました。

北部地区土地区画整理事業が 組合設立・事業化へ

《建設水道常任委員会》

橋りよう架替事業では、北部地区で計画されている区画整理事業に伴ない、地区東側に接続されている彦糸橋と北在家橋の2橋の架け替え等を検討する設計業務を委託する。

土地区画整理支援事業について、北部地区の土地区画整理事業は令和2年度に組合が設立・事業化される。今後、



北部地区土地区画整理予定地

補助金を交付し、組合による造成工事や調整池の整備等の工事が進んでくるとのことでした。

討論として、「雨水貯留浸透施設の設置促進事業は、普及促進には不十分な予算であると考えることから反対」などがありました。

最終結論を出す本会議では、各常任委員長からそれぞれ可決との審査報告がなされました。

続いて討論・採決を行った結果、賛成多数で可決しました。



市内の児童クラブ

3月定例会
3/2~17

3月定例会には、市長から「三郷市国民健康保険税条例の一部を改正する条例」など17議案が提出され、原案通り可決しました。

論点

放課後児童支援員の資格要件を拡充

3月定例会に上程された議案のうち、特に市民の方々に関連の深い議案についてお知らせします。

議案第8号 三郷市放課後児童健全育成事業の設備及び運営の基準に関する条例及び三郷市児童クラブ設置及び管理条例の一部を改正する条例

〈内容〉

児童クラブにおける児童受入数の拡大を図るため、放課後児童支援員の資格要件を拡充するものです。

▽本会議や委員会では次のような質疑がありました。

問 資格要件を規定している第10条第3項の中で「放課後児童支援員の研修の修了を予定している者」とあるが、具体的には。

答 放課後児童支援員は、都道府県知事等が行う研修を修了している必要がある。任用時点で受講していないが、1年以内に研修の修了を予定している者は、放課後児童支援員として勤務できる。

「児童クラブで有資格者となる要件」

1. 保育士の資格を有する者。
2. 教育職員免許法に規定する免許状を有する者。
3. 社会福祉士の資格を有する者。
4. 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者等であって、2年以上児童福祉事業に従事したもの。
5. 大学において、社会福祉学、心理学、教育学、社会学、芸術学若しくは体育学を専修する学科又はこれらに相当する課程（以下「関係課程」という。）を修めて卒業した者。
6. 大学において、関係課程を優秀な成績で単位を修得したことにより、大学院への入学が認められた者。
7. 大学院で、関係課程を修めて卒業した者。
8. 外国の大学において、関係課程を修めて卒業した者。
9. 高等学校卒業業者等であり、かつ、2年以上放課後児童健全育成事業に類似する事業に従事した者であって、市長が適当と認めたもの。
10. 5年以上放課後児童健全育成事業に従事した者であって、市長が適当と認めたもの。

※従前要件は、1と2のみ。



問 同項第9号中に「放課後児童健全育成事業に類似する事業に従事した者」とあるが、この類似とは何か。

答 放課後子ども教室や民間で行っている学童保育が類似する事業に該当する。

問 研修修了予定者であるみなし支援員の給与は、正規の支援員と違いがあるのか。

答 有資格者としての扱いとした給与になる。

問 要件を拡充することによる今後の方針は。

答 補助員の採用を増やし経験年数を重ねていき、有資格者の増加を図る。有資格者1人に対して補助員2人を採用できれば、新たに1部屋分を確保することができる。

最終結論を出す本会議では、常任委員長が委員会の審査内容について報告しました。

続いて討論・採決の結果、全議員賛成で可決しました。

放課後児童支援員とは、児童クラブなど学童保育施設で働くための専門資格であり、子どもの状況を把握して、基本的な生活習慣の指導や発達を促進するほか、保護者、地域社会や学校との連携を担います。



市政に対する

一般質問

— 質問議員 —

鳴海 和美 佐藤 陸郎 柳瀬 勝彦 工藤智加子
 稲葉 春男 渡邊 雅人 深川 智加 佐藤 智仁
 加藤 英泉

市民の要望を市政に反映させるための一般質問は、各種の行政課題を取り上げて、2日間にわたり9人の議員が活発な論戦を展開しました。
※記事掲載は順不同。内容は一部抜粋しています。

多胎児世帯支援について

議員

先般「多胎育児のサポートを考える会」により、双子以上の子どもがいる保護者を対象としたアンケート調査が行われ、そこには育児中につらいと感じた場面として「外出・移動が困難」が89・1%、「自身の睡眠不足や体調不良」が77・3%等の回答があった。2人以上の乳幼児を抱える保護者は、外出も困難なため孤立しがちである。支援の窓口に行くこともできない場合もある。そこで、①国では育児サポーター派遣事業などを始めるが、本市の取り組みは。②保育所の「優先利用による指数」など、多胎児加算について伺う。

子ども未来部長

①市では、子育て支援ステーションほほえみにおいて、支援プランを作成し、妊娠中からでも必要な情報を提供するとともに、出産後は早期に乳児家庭全戸訪問等を行っている。また、健康推進課と連携し、養育支援訪問や地区担当保健師等による継続相談を実施している。②現在、入所の際には加点となっているが、社



会情勢の変化等により今後の見直しは必要であり、近隣市町の状況を確認していく。

その他の質問

就労支援問題。

ギリシャ共和国との

友好都市提携を

議員

三郷市がギリシャ共和国のホストタウンとして登録されてから、様々な交流事業を通して友好が深められ、2020東京オリンピック事前キャンプの基本協定が締結されるに至っている。回国と将来に渡って友好の絆を結ぶことができれば、子どもたちの国際的見聞を広げることにつながり、大変有意義である。そこで、三郷市における「オリンピックレガシー」と

して、回国との友好都市提携を図ることについて伺う。

市長

昨年11月にギリシャ共和国を訪問し、ギリシャ共和国陸上競技連盟との間で、オリンピック事前キャンプに関する基本協定を締結した。また、アテネ市に隣接するペリステリ市の市民と様々な交流を行っている。同市は、日本ギリシャ協会から紹介いただいた人口14万人の都市であり、スポーツ団体などからの三郷市訪問の打診や、東京オリンピックを契機にさらに深い交流を持ちたいとの声をいただいていることから、国際友好都市提携について前向きに進めていきたい。

その他の質問

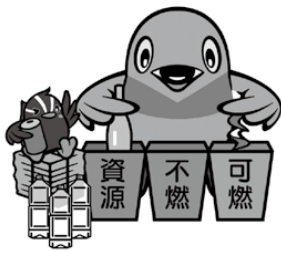
福祉問題など。



ギリシャとの
事前キャンプ基本協定締結式

ゴミ個別収集の実施を

議員 高齢者の単身世帯は、平成27年の国勢調査によると、5610世帯で、一般世帯の10・1%であるが、今後も増加していくことは明らかである。高齢化に伴う心身の機能の低下により、日常生活に支障をきたし、ゴミ出しの作業ができなくなるかたもいる。まずは、高齢者のかたの支援が実施されるべきであるが、こうした状況に総務省は、2018年度からゴミ出しの事業に必要な財源を特別交付税により措置することを決め、支援制度を導入する自治体が増えてきている。本市も実施に踏み出すべきであるが考えは、**環境安全部長** 本市では、ゴミの収集運搬を委託方式で行っており、



新たに個別収集を実施する場合には、委託事業者の人員、車両の確保など、実施体制や実施方法についての課題がある。また、ゴミが出されていなかった場合、カラスや猫による散らかし、集合住宅の場合の対応等々、様々な課題がある。現在、何らかのゴミ出し支援を行っている自治体は、全体の2割強にとどまっているが、今後も見込まれる少子高齢化の進展などを踏まえ、関連部署と連携し調査研究していく。

その他の質問 国民健康保険など。

学校危機管理マニュアル・事後の危機管理について

議員 今回のような感染症やウイルスといった目に見えないものへの不安や風評被害になるような案件の調査・検証・報告をしっかり行い、保護者や子どもへの不安な状態を長引かせないための対策などを考えていかなければならない。ぜひ、今回のコロナウイルス感染症対策についても、事例調査・研究をし、学校危機管理マニュアルに入れるべきである。そうすることで、新たな感染症などで、子どもたちの安心、安全が確保できない危機が訪れた

時には、学校危機管理マニュアル対応として国の要請などを待たずに三郷市独自に判断し、各学校へ指示できるようにすべきと思うが、考えは。

学校教育部長 各学校の危機管理マニュアルでは、感染症については、関係諸機関からの情報を基に医師会と連携しながら感染症の発生段階に応じた学校の対応等について定めている。今回は、校長会と連携を密にし、感染拡大防止に加え、児童・生徒や保護者を支援できる体制づくりに努めている。

その他の質問 不登校問題についてなど。

消費税5%への減税を国に要望すべきでは

議員 内閣府が発表した昨年10月から12月期の実質成長率が前期に比べ1・6%低下、年率換算すると6・3%のマイナス、国民総生産では、年率換算で7・1%減となるなど、消費税増税後、家計や経済を直撃している。同時に、コロナウイルス感染拡大で深刻な経済危機にひんしている。そういう中で、地域経済はどうか。「臨時・特別の措置」の



キャッシュレス・ポイント還元のポスター

状況やプレミアム商品券の状況、消費税5%引き下げについて、市の見解は。

市長 消費税率の引き上げは、社会保障と税の一体改革として、社会保障を持続可能なものにするための安定財源の確保を目的として、国において決定し、実施されたものである。税率の設定は、国レベルでの様々な議論がなされるべきものと考えており、今後についても、国の動向を注視していく。

産業振興部長 臨時特別措置であるキャッシュレス・ポイント還元事業については、市並びに三郷市商工会においてセミナーの開催や経営相談会を行い、市内事業者への制度周知や経営支援を行っている。プレミアム付商品券事業については、1月末時点での商品券を使用した割合(換金割合)は、77・4%である。

その他の質問 労働問題など。

地域医療構想について

議員 国は、公立病院に対する地方

財政措置の見直しを図り、過疎地等で経営条件の厳しい地域において2次救急や災害時等の拠点となる中核的な公立病院に対し、その機能を維持するための地方財政措置を講ずるとしている。特に周産期医療や小児医療などの分野で拡充しようとしている。対象要件は、都道府県の医療計画において行うとしているが、医師の確保、病床数について三郷市はどのようにするのか。

また、病床数の少ない病院のリストラ、病院の統廃合が各自治体の住民不安を招くことから、地域の病院の果たす役割と影響を考慮することについて考えは。

市長 県では、「団塊の世代」が75歳以上となる2025年における医



療需要と病床の必要数と目指すべき医療提供体制を実現するための施策を柱に、「地域医療構想」を策定している。また、全国市長会においても、「地域医療の確保に関する提言」として積極的な措置を講じるよう国へ提言している。今後も引き続き、国や県などの動向を注視し、埼玉東部地域保健医療・地域医療構想協議会などと連携・協力していく。

その他の質問 交通問題など。

病児・病後児保育について

議員 本市における病児・病後児保育の受け入れ人数は1日あたり病児1名、病後児3名となっております。需要に十分に応えられているか懸念がある。この点を解消するため「利用をお断りしている人数の総計」、

「1日あたり最大何名お断りしているのか」等を調査し、需要に沿ったサービスを提供してほしい。また本市では病児・病後児保育を利用するにあたり前日までに市の担当課窓口へ事前申込みを行うこととなっているが、こうした方式では土日の間に体調を崩した子どもを月曜日

に預かれないといった不備がある。この点を解消するため、土日受付や当日受付が行えるよう環境を整備するべきだが、市の考えは。

子ども未来部長 病児・病後児保育事業における利用できなかった人数の統計はとっていないが、受付方法なども含め現状については、課題もあると認識している。需要に沿ったサービスを提供できるように様々な手法について研究していく。

その他の質問 福祉問題など。

自主財源となる

市民税の納税率について

議員 平成30年度市民税の収入総額が222億1150万円、前年比で102.0%、徴収率96.8%であった。100%徴収すると7億3400万円の増収となる。一方、個人住民税(市民税)の納税率は、全国平均が96.9%、埼玉県が96.2%、三郷市は94.4%で、埼玉県63市町村中59番目で、税の公平性からして市民から徴税に疑問が持たれている。ちなみに1位の自治体は100%であった。三郷市の令和2年度一般会計予算は511億円、そのうち、生活保護費は近隣でも例がないほ

どの規模で増え続け、全世帯数6万4900世帯に対し、延べ2万3300世帯、延べ3万660人への扶助費が予算化され、歳出の1割、51億円となっている。扶助費も財源は税金である。納税率をどのように考えるのか。

財務部長 県内でも納付率が低いことは認識している。税収入確保の取り組みとして、給与所得者に代わって給与支払者が市町村に納税する特別徴収制度の推進。また、納付に便利な口座振替による納税や、モバイルレジの導入、納付呼びかけセンターなど、納付率向上のための取り組みを進めている。

その他の質問 交通問題。



住宅リフォーム助成制度で 市内経済の活性化を

議員

個人が市内業者を使ってリフォームするときに補助金が出る「住宅リフォーム助成制度」は、県内多くの自治体が実施している。制度の経済効果は明らかであるうえ、住環境の改善につながり、意義ある施策である。また、中小建設業者は地域の防災などで重要な役割を担っているが、仕事が減り、昨年の消費税増税によって生業は一層厳しいものとなっている。このことから、地域振興政策がさらに求められている。本市には関連施策があるが、耐震改修と同時に実施しないリフォームのみの工事は補助対象外である。この要件を緩和し、誰もが使いやすい制度へと拡充すべきだ



が、市長の考えは。また、経済波及効果や他自治体の状況はどのようか。

市長

市内には依然として、旧耐震基準の建築物が数多く存在しており、地震による建築物の倒壊等の被害から市民の身体、生命及び財産を保護し、被害を軽減させるためにも、建築物の耐震改修の促進は優先すべき施策であり継続していきたいと考えている。

産業振興部長

現行の制度における、今年度の補助額65万8千円に対し、全体の工事請負額が955万9千円となっていることから、一定の経済効果があるものと認識している。また、周辺自治体では、八潮市、吉川市、草加市商工会議所が実施している。

その他の質問

平和問題など。

議会の詳細は「会議録」で

三郷市議会ホームページ又は、市役所内の市政情報コーナー、図書館などで「会議録」を閲覧することができます。なお3月定例会の会議録は5月下旬に更新する予定です。

▶会議録速報版を公開…閉会から1か月を目安に、ホームページにてPDF形式で公開していますので、ご覧ください。

URL <https://ssp.kaigiroku.net/tenant/misato/SpTop.html>

三郷市議会 会議録

検索

議会あれこれ

陳情を受理

○3月定例会では陳情3件を受理しました。

視察研修を行いました

- 21世紀クラブ…2月4日に山口県下関市の「消防団員の入団促進の取り組み」、5日に福岡県北九州市の「北九州市立子育てふれあい交流プラザ元気のもり」、6日に宗像市における「道の駅むなかた」について。
- 21世紀クラブ議員…2月12日に富山県高岡市の「まちなか再構築事業」、13日に舟橋村の「舟橋村立図書館」について。
- 「政志会」…2月3日に大阪府泉佐野市の「ホストタウンとしての取り組み」、4日に池田市の「共生社会ホストタウンの取り組み」、5日に大阪市の「イメージハンプを活用した交通安全対策」について。
- 「公明党」…2月5日に福岡県糸島市の「フレイル予防事業」、6日に大分県中津市の「児童虐待防止対策」及び「中津市乳幼児教育振興プログラム(あそびのすすめ)」、7日に大分市の「防災会議と議会BCP」について。

他市からの行政視察がありました

- 「すこやかみさと健康体操」について…1月16日に岩手県滝沢市議会環境厚生常任委員会。
- 「自主防災組織設立及び活動推進事業」について…1月29日に鳥取県米子市議会蒼生会。
- 「日本一の読書のまち推進事業」について…2月4日に山口県光市議会こう志会。
- 「送迎保育ステーション事業」について…2月5日に大阪府富田林市議会公明党。

議会に関する議案を可決

- 三郷市議会委員会条例の一部を改正する条例…市の機構改善に伴い、常任委員会の所管を変更しました。
 - ▷総務常任委員会に「危機管理防災課」を追加。
 - ▷市民福祉常任委員会の「市民生活部」を「スポーツ健康部」に変更。
 - ▷文教経済常任委員会の「環境経済部・産業振興部」を「市民経済部」に変更。

全員協議会を開催

- 2月25日に「第5次三郷市総合計画基本構想(案等)」について協議しました。

3月定例会の審議結果と賛否をお知らせします

○=賛成 ×=反対

号	件名	結果	21世紀	政志会	公明党	共産党	市民派
1	三郷市道路線の変更について	可決	○	○	○	○	○
2	三郷市道路線の認定について	可決	○	○	○	○	○
3	三郷市職員公務災害等見舞金支給条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○
4	三郷市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○
5	災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○
6	三郷市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○
7	三郷市市営住宅設置及び管理条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○
8	三郷市放課後児童健全育成事業の設備及び運営の基準に関する条例及び三郷市児童クラブ設置及び管理条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○
議案	9 令和元年度三郷市一般会計補正予算(第5号)	可決	○	○	○	○	○
	10 令和元年度三郷市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○
	11 令和元年度三郷市公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○
	12 令和2年度三郷市一般会計予算	可決	○	○	○	×	○
	13 令和2年度三郷市国民健康保険特別会計予算	可決	○	○	○	×	○
	14 令和2年度三郷市公共下水道事業特別会計予算	可決	○	○	○	×	○
	15 令和2年度三郷市介護保険特別会計予算	可決	○	○	○	×	○
	16 令和2年度三郷市後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	○	×	○
	17 令和2年度三郷市上水道事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○
議員提出	18 三郷市議会委員会条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○
諮問	1 人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	適任	○	○	○	○	○

※このほか報告5件が提出されました。

会派名(人数)	所属議員名
21世紀クラブ(7)	岡庭 明、菊名 裕(議長)、市川 文雄、 加藤 英泉、柳瀬 勝彦、柴田 吾一、渡邊 雅人
政志会(5)	篠田 進、武居 弘治、佐藤 裕之、佐々木 修、 野村 浩之
公明党(5)	酒巻 宗一、中野 照夫、鈴木 深太郎、佐藤 睦郎、 鳴海 和美
日本共産党(4)	稲葉 春男、工藤 智加子、佐藤 智仁、深川 智加
市民派クラブ(1)	村上 香代子

※議長は採決に加わっていません。

人事案件

○人権擁護委員を
適任としました。

再任 白石 匡子 氏

※人権擁護委員は、法務大臣から委嘱を受けて、基本的人権が侵されることのないように地域のかたを見守り、相談を受けるなどの活動を行います。



街の発展

自営業 60代 新和在住

市内を見渡すと、三郷市では、まだまだ調整区域が多いように思います。開発や区画整理が続々と進められ、十数年前に比べるとだいぶ街として栄えてきましたが、まだまだ開発が必要と感じられます。

せっかく都内からすぐの立地の良い好条件の自治体であるので、今後、より一層に開発や区画整理を進めていただけると、人口増加や、経済的成長など、色々な面で潤い、良い効果が期待できると考えられます。調整区域を少なくしていき、街がどんどん栄えていくことを期待しております。

図書館のWebサイトを活用しています

主婦 40代 戸ヶ崎在住

子どもの頃から本が大好きで、よく図書館を利用しています。TV、新聞、吊革広告などで気になったタイトルを見かけては、まずは図書館のWebサイトで検索することも多いです。

数年前から借りた本の中に寄贈スタンプを見かけるようになりました。そんな時は、同じジャンルを好きな人が市内にいらっしゃるんだなあと、嬉しくなります。

先日、市立図書館で「やみなべとしょかん」なるものを見ました。自分では選ばないであろう本を手にする機会にもなる面白い企画だったので、また見かけたら借りてみたいと思っています。各図書館で企画され好評なものは、ほかの図書館でも企画されるといいな、と思いました。



議会を傍聴しませんか

議会傍聴は、議会活動に触れる最も身近な方法です。

本会議や委員会では、市民の皆様の生活に直接関わる重要な問題について、活発な議論が交わされますので、市政への理解を深めていただくためにも、市議会の傍聴をしてみませんか。

問い合わせ 議会事務局 ☎048(930)7768

・傍聴のルール・

- (1) 騒ぎ立てたり、拍手をするなど可否を表明したり、迷惑となるような行為をしないでください。
 - (2) みだりに立ち上がるなど、威圧的な行為をしないでください。
 - (3) 携帯電話・カメラ・録音機等は使用できません。(電源オフ)
 - (4) 飲食または喫煙をしないでください。
 - (5) その他、議場の秩序を乱し、または会議の妨害となるような行為をしないでください。
- ※傍聴されるかは、すべて議長、または係員の指示に従ってください。

次回の定例会は6月に開かれます。
10時から開会となります。

【令和2年6月定例会の予定表】

※新型コロナウイルス対応のため、変更される場合があります。

月日	曜日	会議別
6月1日	月	本会議
6月3日	水	
6月4日	木	委員会
6月9日	火	
6月10日	水	本会議
6月11日	木	(一般質問など)
6月12日	金	

みさと市議会だより(第181号)
発行 三郷市議会
編集 議会だより編集委員会
〒341-8001
埼玉県三郷市花和田648-1
TEL 048-930-7768(直通)
FAX 048-953-1358
URL: <http://www.city.misato.lg.jp>



この議会だよりは地球にやさしい再生紙と植物油インクを使用しています。